

# 日本生命は京都府・京都市と包括連携協定を締結し、地域に根差した取組を進めています

日本生命グループは、『誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会』の実現を目指し、「人」「地域社会」「地球環境」の3領域に取り組んでいます



## ニッセイ医療費白書

### 地域の健康増進・疾病予防に向けた“がん啓発活動”

地域の皆様へがん検診に関するアンケートを実施し、回答内容に応じて、「がん」や「がん検診」に関するさまざまな情報をご提供します。また、アンケート結果は集計・分析し、地域の皆様や自治体にフィードバックさせていただくことで、地域社会のお役に立つことを目指しています。

#### 「につせーのせ！地域振興寄付金」

アンケートへの回答1件につき10円を  
日本赤十字社の都道府県支部へ寄付します

2025年 7/28(月)～11/24(月)の期間に『がん検診に関するアンケート』をご案内させていただきます

「一般社団法人 医学生による  
がん教育推進協会」に協賛し、  
中高生に対するがん教育を推進



「がん対策推進企業アクション」  
にパートナー企業として参画し、  
企業・職域のがん対策を推進

### 京都タオル帽子の会との協同取組



「京都タオル帽子の会」とは、がん治療の過程で脱毛の時期を迎えた患者さんに、病院・がんサロンを通じてタオル帽子をプレゼントする活動を行っている団体です。日本生命京都支社とは2020年以降関係が途絶えていましたが、2025年度に再開し、営業職員と一緒にタオル帽子を作る製作教室と、活動支援金の寄付を実施しました。寄付金は日本生命社長の朝日より贈呈され、当日の様子が京都新聞に取り上げられました。

### 交通安全啓発活動と寄付金贈呈式



地域の安心・安全に向け、地域の皆様への交通安全に関する情報提供に加え、自転車保険加入状況や2024年の道路交通法改正内容の認知度等についてアンケートを行い(2025年3-7月実施)、全国で112万件、京都府で2.3万件の声を収集しました。2025年度より、アンケート1枚につき10円を寄付する活動を行っており、京都府では23.8万円を京都府交通安全協会様に寄付いたしました。

### 祇園祭での「ゴミゼロボランティア」



2025年7月、京都市で行われた祇園祭 宵山にて職員16名がボランティアとして参加し、清掃活動を行いました。

### 京都大学ギャングスターズとの協同ブース出展



2025年10月11日に西京極総合運動公園にて開催された「京都市スポーツフェスタ」にて、京都大学アメリカンフットボール部「京大ギャングスターズ」との共同ブースを出展しました。日本生命では事前告知活動や当日運営に協力し、当日は204名の方に来場いただきました。

私がスタッフとして参加した京大ギャングスターズとのブース出展では、参加された皆様から「楽しかった」とたくさんのお声をいただきました。大変好評いただきました。京都支社では、今後も皆様に喜んでいただけるイベントを企画してまいります！



日本生命  
京都支社  
齋藤 美玖

### 日本生命京都支社についてお知らせいたします

京都支社概況					保険金等のお支払実績（2024年度）	
設立年月	営業拠点数	職員数 (うち営業職員数)	お客様数	お取引企業数	お支払金額の合計	お支払件数の合計
1891年2月	20拠点	877名(617名)	18.4万人	5,221社	239億円	3.4万件
京都支社	全国				2兆7,194億円	1,087.5万件

※お支払実績については、全国は個人・法人の合計実績、支社は一部給付金等を除く個人の実績を集計しています。※お支払件数は保険種目ごとに集計しています。(例:入院給付金・手術給付金を同時にご請求いただき、お支払した場合は2件)※表示単位未満を切り捨てて表記しております。※営業拠点数は2024年4月時点、職員数(営業職員数)・お客様数(被保険者数)・お取引企業数は2025年3月時点。※がん検診は、正しい方法を正しく行うことでのがんによる死亡リスクの低下が期待できる一方、「エックス線検査による放射線被ばく」等のデメリットがあるとされています。がん検診に対する理解を深め、健康と安心のために適切に利用してください。詳細については「がん検診についての解説ビラ」をご覧ください。



日本生命保険相互会社  
生25-4301, 地域振興支援室  
(042-25-210)